

誰一人取り残さない学びを保障する不登校対策

教育支援室 (せせらぎ教室)

教育支援室では、様々な理由で学校生活に不安を感じ、登校することができなくなっている児童・生徒に、社会的自立に向けた支援を行っています。また、在籍校、教育相談所及びスクールソーシャルワーカー(SSW)と連携をとりながら、学習支援や教育相談を行っています。

■活動内容

- ①学習活動：学力に関する不安や悩みを解消するため、興味・関心に応じて、教科の自主的学習を行っています。
- ②集団活動：社会生活に適應できる能力を育むため、他者とのコミュニケーションや体を動かすことを行っています。
- ③相談活動：幅広い人間関係の中で、人と関わり、人に頼れることの安心感をもてるような活動を行っています。

■仮想空間を利用した教室

バーチャル・ラーニング・プラットフォーム(以下、VLP)を活用し、オンライン上での居場所や学びの場所を提供しています。1時間目に通室児童・生徒全員がVLPに入室し、オン

ラインドリルに取り組んだ後、VLP内で出席確認や一日の予定の確認を行っています。また、仮想の学習教室では自分のペースで各教科のドリルなどにも取り組めます。自宅からVLPに入って参加することも可能なので、教育支援室に通室できない日でも指導員等の支援を受けることができます。

また、毎週火曜日に、VLP内でクイズ大会等のイベントを開催し、通室の有無にかかわらず、児童・生徒がオンライン上で交流しています。

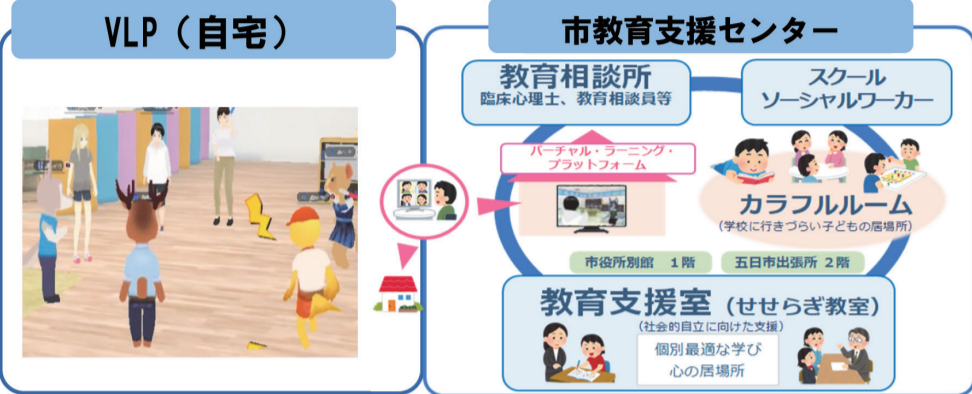
校内カラフルルーム

令和6年度から、教室に入りづらい子どもの居場所として市内全小・中学校に「校内カラフルルーム」を設置しました。

各学校が、児童・生徒が安心して利用できるよう、教室環境の整備を行ったり、アセスメント(査定や評価)等を活用し、児童・生徒の状況を把握したりしながら、個に応じた支援を行っています。

■オンライン授業

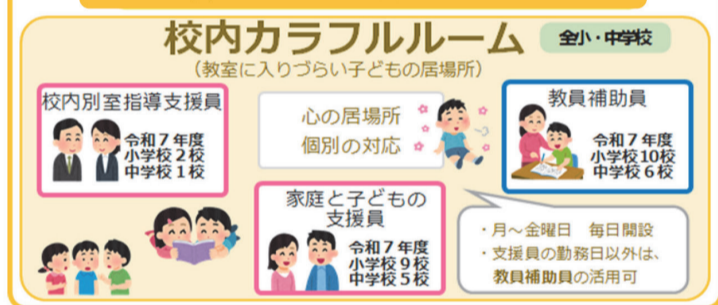
児童・生徒の状況や各教科の学習内容等に応じて、カラフルルーム等において、一人一台学習端末を利用し、リアルタイムで教室の学習活動に参加しています。



オンライン授業



校内教育支援センター



チャレンジクラス「るのR」

令和6年度に、不登校対応校内分教室として、あきる野市立秋多中学校内に、チャレンジクラス「るのR」を開設しました。「るのR」では、一人一人の生徒に配慮して作成した個別の指導計画に基づき、きめ細かな指導を行うとともに、不登校生徒が、安心して学校生活を送ることができるよう、ゆとりある生活時程を実現し、実態に応じた支援を行っています。

■学習内容定着の取組

入級後に、教科担任が生徒の学習状況について、個別に面談をしながら評価し、一人一人に応じた授業を実施しています。また、パーティション等を配置し、個別の学習スペースを作るなど、落ち着いた学習環境の中で学習しています。

■登校に向けた支援の取組

入級前、心身の不調などの理由により欠席することが多かった生徒に対しては、ゆとりある生活時程の中で、心を整えるための工夫を行っています。例えば、生徒がリラックスできるよう、教室内で落ち着いた雰囲気や心身の状況の把握のため、担任と生徒が休日の過

し方や出来事などについて互いに話し合うなど、「コミュニケーションを楽しむ時間を設定したりしています。

その結果、「多人数が苦手」自分のペースでゆつくり学びたい」といった生徒にとってチャレンジクラスは登校しやすい場所になり、在籍生徒の平均出席率は、入級前25.2%(年間平均)から51.3%に増加しました。

■関係機関等と連携した相談・指導の充実に向けた取組

教育相談所・SSW等関係機関との連携を密に取り、生徒についての情報を共有することも、生徒一人一人の状況に応じ

た支援を行っています。

■その他の取組

教員と生徒が一緒になって教室を装飾したり、校外学習を計画したりする機会を設けると、授業の中で、協働的な学びを重視した活動を取り入れることで、自分の気持ちをうまく表現できなかった生徒が友達同士で会話をする機会が増えてコミュニケーション力の向上が図られています。

これらの取組を通じて、チャレンジクラス「るのR」は、在籍生徒が登校しやすい場所となっています。



安心・安全で快適な生活空間と学習スペース

